

事業番号

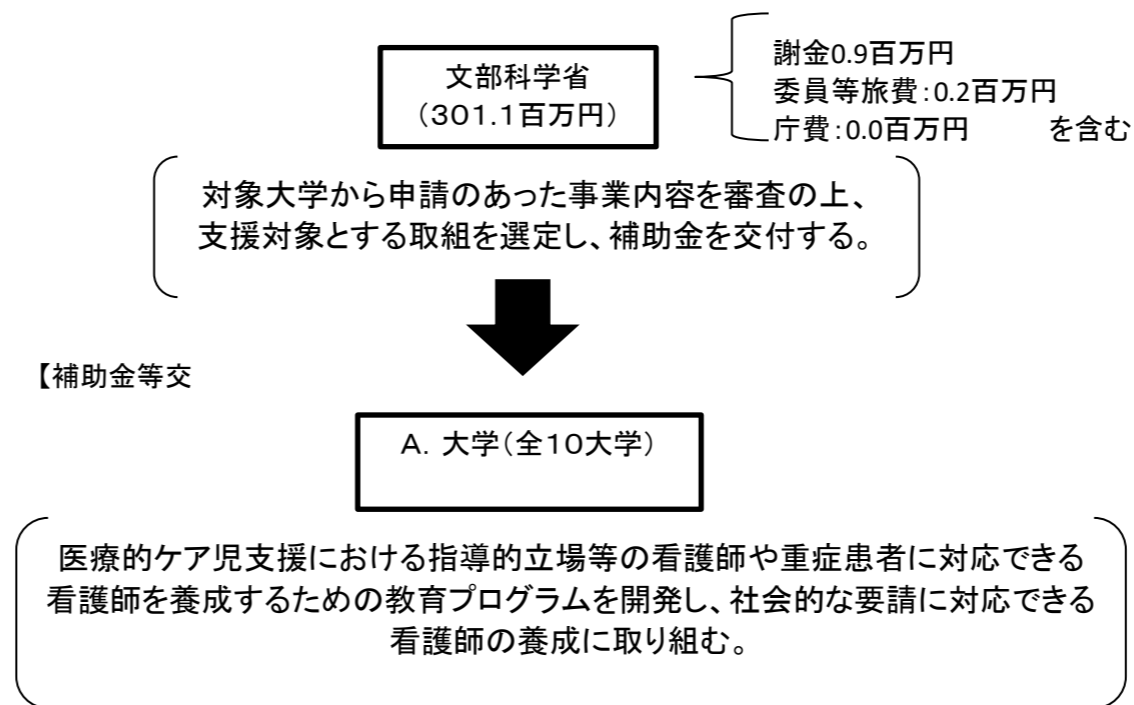
2023 - 文科 - 新24 - 0012

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	社会的な要請に対応できる看護師の養成事業			担当部局庁	高等教育局	作成責任者	
事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和8年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 俵 幸嗣	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律(令和4年法律第96号)			関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定) こども未来戦略方針(令和5年6月13日) 感染症法に基づく「医療措置協定」締結等のガイドライン(令和5年5月26日)		
政策	4 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師や重症患者に対応できる看護師を養成するための教育プログラムを開発し、社会的な要請に対応できる看護師の養成を行う。						
現状・課題 (5行程度以内)	社会の変化等により、看護師に求められる能力や看護を提供する場が多様化してきたことにより、社会的な要請に対応できる看護師の養成が急務となっている。医療技術の進歩に伴い、特別支援学校のみならず、地域の小・中学校等においても医療的ケア児は増加しているが、その支援体制は十分ではない。医療的ケア児の地域における支援体制構築のためにリーダーシップを発揮する看護師の養成が求められている。改正感染症法の成立を踏まえ、コロナ禍で必要性が顕著となった重症患者の対応が可能な看護師の養成が求められている。						
事業概要 (5行程度以内)	看護系大学において、現役看護師・潜在看護師を対象とした医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師養成のためのリスキリング教育プログラムの構築及び看護師養成課程を立場とした医療的ケア児支援を含む実習等の試行的実施を行う。クリティカルケア領域(集中治療・救急部門等)における長期のOJTを含む重症患者に対応できる看護師養成のための実践的教育プログラムの構築を行う。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	301.1
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	高等教育振興費			重要政策推進枠301百万円		
	(目)	大学改革推進等補助金		300			
	(目)	諸謝金		1			
	(目)	委員等旅費		0			
	(目)	庁費		0			
	(目)	その他	-	0.0			
	計(A)	-	301.1				

活動内容① (アクティビティ)	看護系大学において、現役看護師・潜在看護師を対象とした医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師養成のためのリスキリング教育プログラムの構築及び看護師養成課程を立場とした医療的ケア児支援のための実習等の試行的実施を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	各大学における地域と連携した社会的な要請に対応できる看護師養成のための教育プログラムの構築	各大学における教育プログラム構築数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	6	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師の養成を図るため、本事業で構築・実施された教育プログラムの受講者数を短期アウトカムとする。									
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8年度		
	令和8年度までに本事業によって構築された医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師養成に係る教育プログラムを120名受講する	医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師養成に係る教育プログラムの受講者数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	120		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	選定大学からの報告書									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師の養成を図るため、教育委員会管内の指導的立場の看護師がいる地域が増加することを長期アウトカムとする									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度		
	教育委員会管内の指導的立場等の看護師がいる地域の割合が増加する	教育委員会管内の指導的立場等の看護師がいる地域の割合	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	50		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省による調査									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	クリティカルケア領域(集中治療・救急部門等)における長期のOJTを含む重症患者に対応できる看護師養成のための実践的教育プログラムを構築する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	各大学における重症患者に対応できる看護師養成のための教育プログラムの構築	各大学における教育プログラム構築数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	4	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	重症患者に対応できる看護師の養成を図るため、本事業で構築・実施された教育プログラムの受講者数を短期アウトカムとする。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	本事業によって構築された重症患者に対応できる看護師養成に係る教育プログラムを1年間当たり16名受講する	重症患者に対応できる看護師養成に係る教育プログラムの受講者数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	16		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	選定大学からの報告書									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	看護師のアセスメント能力の向上、重症患者への対応ができる看護師の養成を図るため、感染まん延時等における大学病院からの看護師派遣に対応可能な人数が増加することを長期アウトカムとする								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度		
	令和8年度までに感染まん延時等における大学病院からの看護師派遣に対応できる人数が増加する	感染まん延時等における大学病院からの看護師派遣対応可能人数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	48		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省による調査									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

※ 金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が
 何を行っているかにつ
 いて補足する)
 (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と
 使途の双方で実情が分
 かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計			計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック